SONY®

4-652-892-**02(1)**

AITドライブユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SDX-500C/RS

 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



❶ **電源を切る**

❷ **パソコンのAC電源コードやインターフェースケーブルを抜く**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

目次

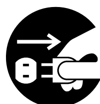





火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けが
につながることがあります。

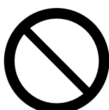
パソコンの電源コードを抜き電源を切る



プラグをコンセントから抜く

本機をパソコンに取り付けるときは、必ずパソコンの電源コードをコンセントから抜き、電源を切ってください。感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

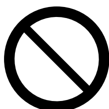


禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- **電源コードを加工したり、傷つけたりしない。**
- **重いものをのせたり、引っ張ったりしない。**
- **熱器具に近づけたり、加熱したりしない。**

万一、電源コードが傷んだら、パソコン本体の修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

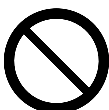
油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

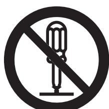
内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない



分解禁止

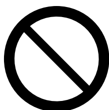
開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。







下記の注意を守らないと、火災や感電により
死亡や大けがにつながることがあります。



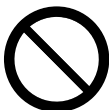
パソコンから供給されるDC 12 V／5 V電源プラグ以外は接続しない

火災や感電の原因となります。



DC 12 V／5 V電源プラグは根元まで本機のコネクターにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。



DC 12 V／5 V電源プラグの向きを逆に接続しない

無理に電源プラグの向きを反対に接続しないでください。火災や感電の原因になります。



DC 12 V／5 V電源プラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

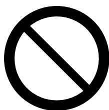
感電の原因となります。





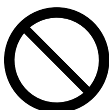


下記の注意を守らないと、火災や感電により
死亡や大けがにつながることがあります。



ぬれた手や素手でパソコン内の電源部や電源プラグをさわらない

ぬれた手や素手でパソコン内の電源プラグや電源部に触れると、感電やパソコンの故障の原因となります。また、筐体のバリに触れるとけがの原因となります。



パソコンを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



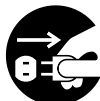
下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります



注意

本機の取り付けは、市販の適切なネジを使用する

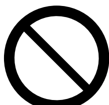
本機をパソコンに取り付けるには、必ず市販の適切なネジを用いて、パソコンに固定してください。
ネジで固定しないと、本体がパソコンから外れて落下したり接続ケーブルを破損する原因となります。
また、ネジをパソコン内部に落下させた場合は、必ず取り除いてください。そのままパソコンを使用すると、故障の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときはパソコンの電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のためパソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

本機は、Advanced Intelligent Tape（AIT）テクノロジーを使用した大容量データ記憶装置です。本機は、リードアフターライト機能と3レベルのエラー訂正コードの採用により、高いデータ信頼性を実現しています。
本機は、AITという標準フォーマットとALDCフォーマットを使用してテープにデータを記録します。

本機の特長

データ容量	50 Gバイト（AIT-2 230 mテープ使用時） （データ圧縮時は約100 Gバイトから150 Gバイト）
転送レート	6 Mバイト／秒（AIT-2テープ使用時） （データ圧縮時は約12 Mバイト／秒から18 Mバイト／秒）

- 対応フォーマット：　AIT-1、AIT-2
- バースト転送レート：－12 Mバイト／秒（非同期）
  －40 Mバイト／秒（同期）
- 10 Mバイトの大容量バッファーメモリー
- 5.25インチフォーム
- 組み込みSCSIインターフェース
  （Ultra Wide LVD／SE SCSI準拠（シングルエンド））
- 可変レコード長および固定レコード長対応
- Supports SCSI切り離し／アービトレーション対応
- リードアフターライト（RAW）オンおよびオフ選択可能
- フレーム再書き込み機能
- 3レベルのエラー訂正コード（ECC）
- 高速検索（通常の読み出し／書き込み速度の120倍）
- ランダム読み出し、アペンド書き込み

使用できるカートリッジ

本機には、AIT-1カートリッジおよびAIT-2カートリッジを使用できます。



AIT-1マーク



AIT-2マーク

ご注意

- 市販の8 mmビデオテープは、外観は似ていますが、仕様がまったく違うので使用できません。8 mmビデオテープなどAITカートリッジ以外のカートリッジをセットしないでください。故障の原因になります。
- EXABYTEやMAMMOTHなど他フォーマットのテープは使用できません。

使用上のご注意

設置について

次のような場所に本機を設置しないでください。

・湿度の高い場所
・気温の高い場所
・機械的な衝撃や振動の発生する場所
・直射日光のあたる場所

操作について

本機の操作では、次の点にご注意ください。

・本機の動作中は本機を移動させないでください。故障の原因となる場合があります。
・本機を急激な温度変化にさらさないでください。ドライブの内部に結露が生じる場合があります。使用時に気温が急激に上昇するような場合は、いったん本機の電源を切り、1時間以上待って電源を入れ直してください。急激に気温が上昇した直後に本機を使用すると、本機が故障する場合があります。
・テープに書き込みを行っている最中に電源を切ると、テープの読み出しが行えなくなることがあります。なお、電源を切る前に設定されたパラメーターは、電源のオン、オフによりすべて消去されます。

搬送について

本機を輸送する場合は、次の点にご注意ください。

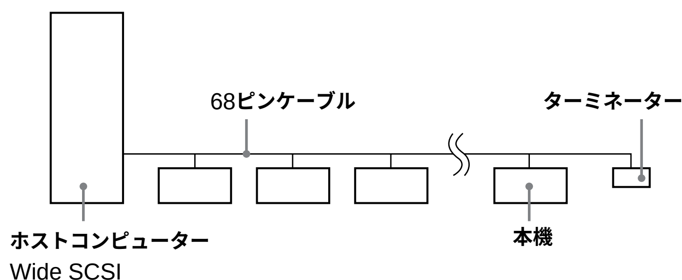
・本機を搬送する場合に備え、梱包資材は保存しておいてください。
・本機を移動するときは、必ずカートリッジを取り出してください。また、コンピューターから本機を取り外したら、元のパッケージに入れて保管してください。

SCSI終端抵抗について

SDX-500C/RSは、内蔵ドライブの終端抵抗として外付けのターミネーターが必要となるMicrosoft PC97規格に準拠しています。

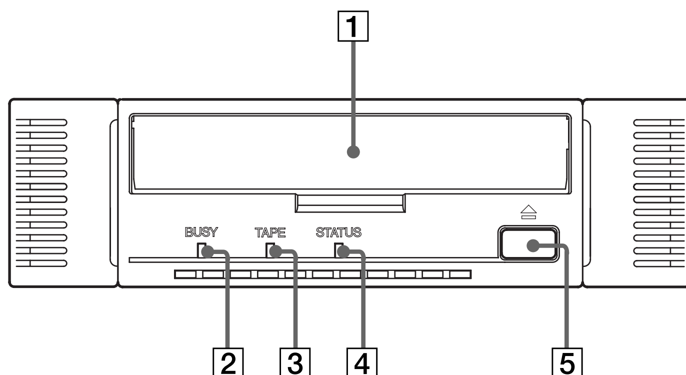
Microsoft PC97 SCSI条件

SCSIバスの終端抵抗としてSCSI周辺機器を使用することはできません。内部ケーブルおよび外部ケーブルの終端には、プラグインコネクターを取り付ける必要があります。



ホストコンピューターおよび他のSCSI機器との接続

各部の名称と働き



1 **データカートリッジ挿入口**
AITデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては18ページをご覧ください。

2 **BUSYインジケーター**
SCSIインターフェースを通してデータのやり取りを行っているときに点灯します。また、以下のようなときには点滅します。
挿入されているカートリッジのデータが正常に読み取り書き込みが行われているときは等間隔に点滅します。

3 **TAPEインジケーター**
AITデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

カートリッジの出し入れを行っているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジが劣化してきたとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

4 STATUSインジケーター

挿入されているAIT データカートリッジが書き込み禁止状態になっているときに点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

クリーニングが必要なとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。
クリーニング中、テープが最後まできたとき	等間隔に点滅します。
ドライブが故障しているとき	短い点灯（1回ないし2回）と長い消灯を繰り返します。

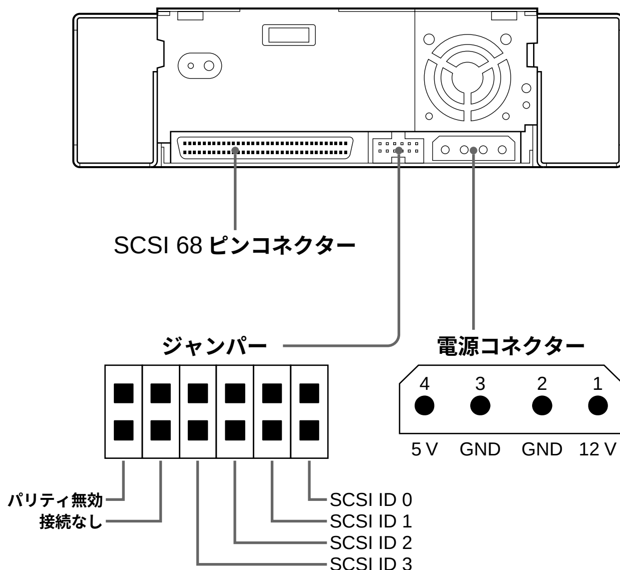
5 EJECTボタン

AIT データカートリッジを本機から取り出すときに押します。

SCSI接続およびSCSI IDの設定

SCSI ID

SCSI ID	P.D.	N.C.	3	2	1	0
0			■	■	■	■
1			■	■	■	□
2			■	■	□	■
3			■	■	□	□
4			■	□	■	■
5			■	□	■	□
6			■	□	□	■
7			■	□	□	□
8			□	■	■/□	■
9			□	■	■	□
10			□	■	□	■
11			□	■	□	□
12			□	□	■	■
13			□	□	■	□
14			□	□	□	■
15			□	□	□	□



パリティ

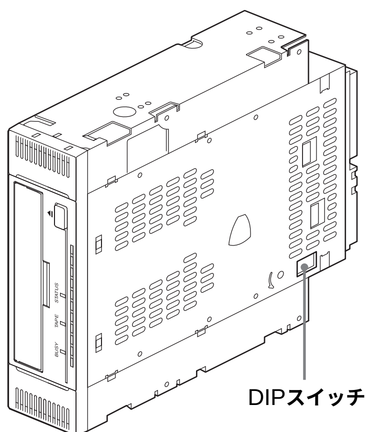
無効	□					
有効	■					

Note :
□ = 閉 / ジャンパー使用
■ = 開 / ジャンパー未使用
（空欄） = 関係なし

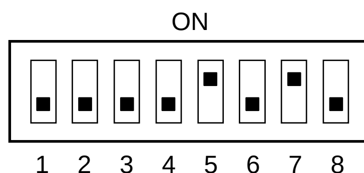
パリティ無効ジャンパーについて

パリティチェック機能は、ジャンパーにより無効にすることができます。左端のジャンパーを取り付けると、パリティチェックは無効となります。なお、パリティ生成機能は常に有効です。

オプションスイッチ（DIPスイッチ）の設定



DIPスイッチのポジション

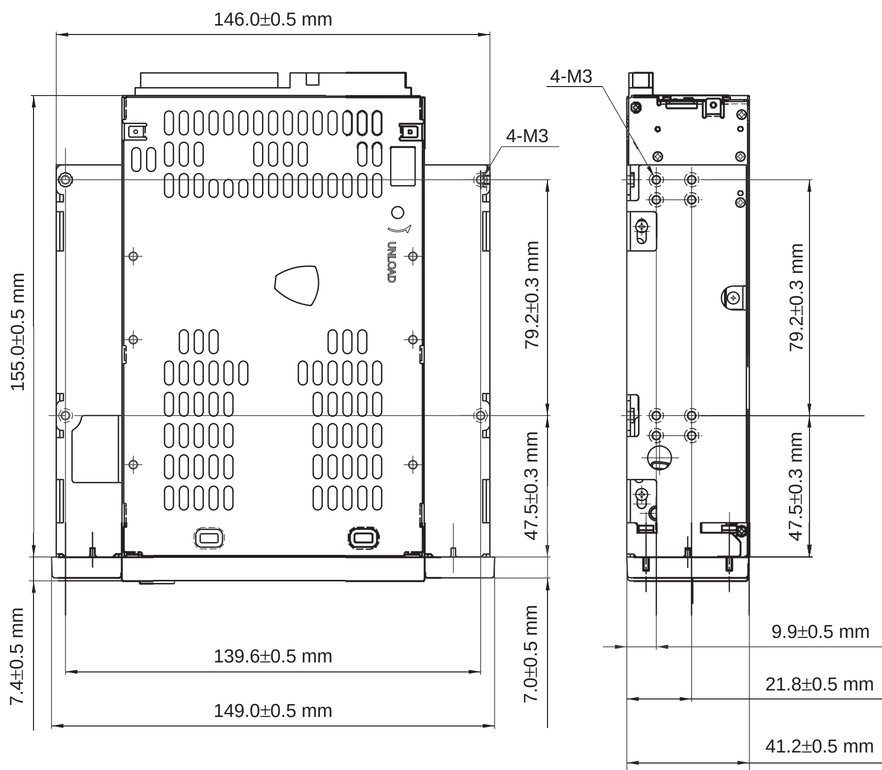


1 Reserved（OFF）
2 Reserved（OFF）
3 Reserved（OFF）
4 Reserved（OFF）
5 Terminator Power（ON）
6 Reserved（OFF）
7 データ圧縮（1）（ON）
8 データ圧縮（2）（OFF）
（　）内は工場出荷時の設定

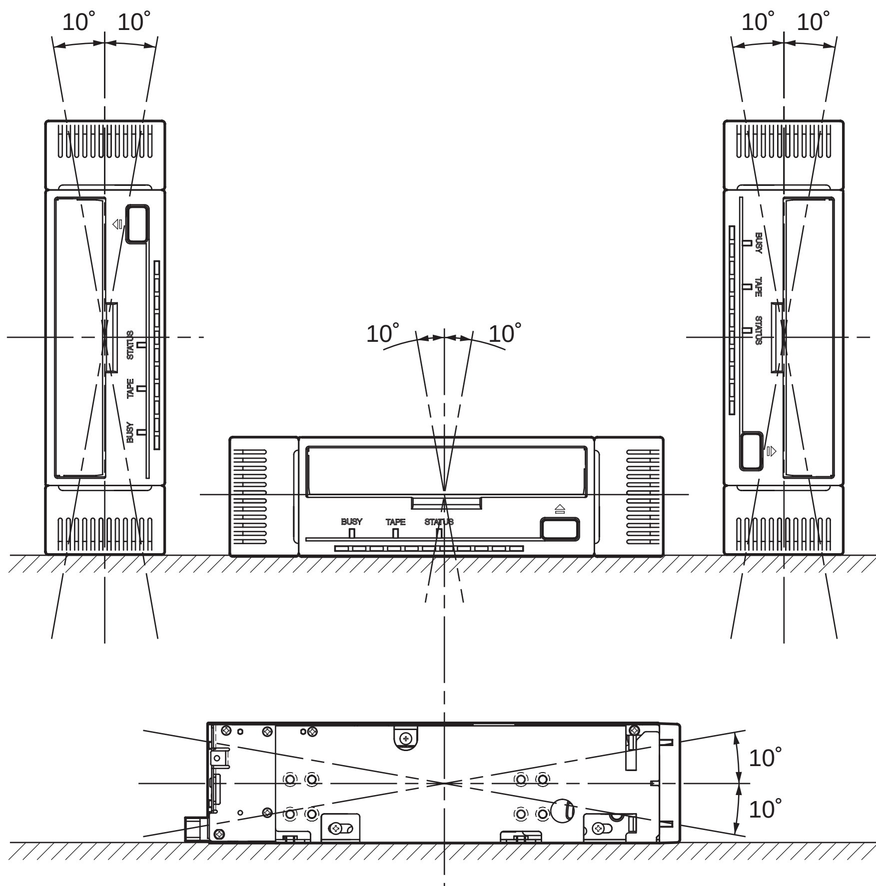
データ圧縮の設定について

データ圧縮は、DIP スイッチで設定することができます。
ポジション7（データ圧縮（1））がオン のときは、データ圧縮が有効となります。
ポジション8（データ圧縮（2））をオン にすると、ホストによるコントロールが無効となります。

5.25インチ標準サイズの取り付け穴



取り付け方向



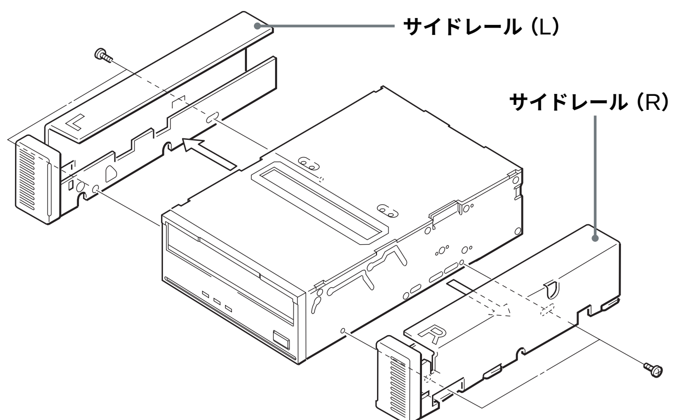
10°
10°
10°
10°
BUSY
TAPE
STATUS
10°
10°
BUSY
TAPE
STATUS
BUSY
TAPE
STATUS
10°
10°

3.5インチ標準サイズへの変更

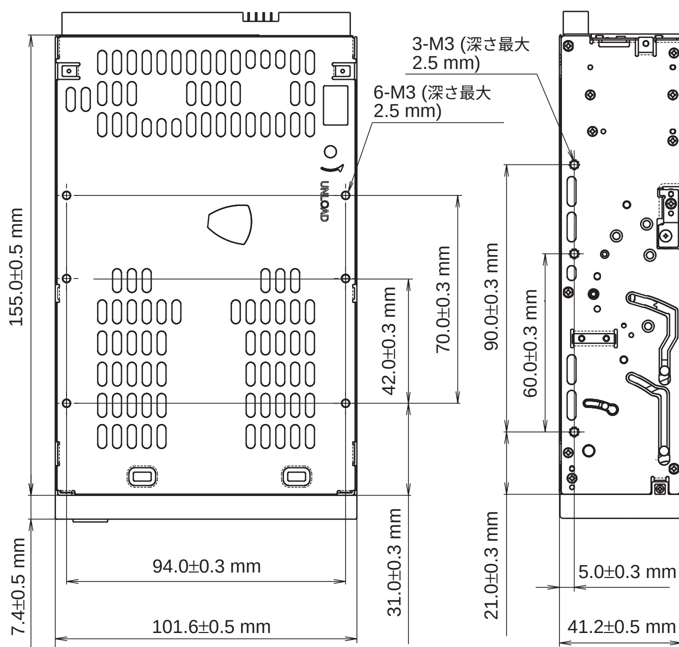
以下の手順で、5.25インチ標準サイズから3.5インチ標準サイズに変更できます。

1 **左右それぞれのサイドレールを取り付けている2本のネジを外す。**

2 **サイドレールを取り外す。**



3.5インチ標準サイズの取り付け穴



操作

カートリッジの挿入

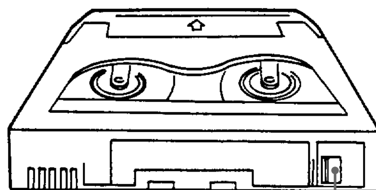
カートリッジの矢印が本機に向くようにして、フロントパネルの挿入口にカートリッジを挿入します。一定の位置までカートリッジを挿入すると、カートリッジが自動的にセットされます。

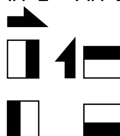
カートリッジの取り出し

SCSI Unloadコマンドまたは EJECTボタンにより、本機からカートリッジを取り出すことができます。
EJECTボタンを押すと、テープが巻き戻され、カートリッジがスロットから自動的に排出されます。

テープの書き込み保護

カートリッジの背面のツメをスライドさせることによって、テープへの書き込みを保護することができます。この状態では、テープからデータを読み出すことはできますが、テープに書き込みを行うことはできません。





書き込みや不意の消去からテープを保護するには、ツメを矢印の方向に動かします。

再び書き込みを行えるようにするには、ツメを元の位置に戻します。

クリーニングテープ

AITドライブユニットを最適な状態に保つために、必要に応じて付属のクリーニングテープを使い、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングが必要になると、STATUSインジケーターが点滅します。（13ページ）

インターフェース

SCSIメッセージ

Abort
Bus Device Reset
Command Complete
Disconnect
Extended Message
- Synchronous Data Transfer Request
- Wide Data Transfer Request
Identify (w/&w/o Disconnect)
Ignore Wide Residue
Message Parity Error
Message Reject
No Operation
Restore Pointers
Save Data Pointer

SCSIコマンド

Erase
Inquiry
Load/Unload
Locate
Log Sense
Log Select
Mode Select
Mode Sense
Prevent Allow Medium Removal
Read
Read Block Limits
Read Buffer
Read Position
Receive Diagnostic Result
Release Unit
Report Density Support
Report Luns
Request Block Address
Request Sense
Reserve Unit
Rewind
Seek Block
Send Diagnostic
Space
Test Unit Ready
Verify
Write
Write Buffer
Write Filemarks

主な仕様

性能

AIT-1モード

記憶容量	35 Gバイト（非圧縮、AIT-1テープ使用時） 70 Gバイト（2：1圧縮、AIT-1テープ使用時）
データ転送速度（TAPE）	4 Mバイト／秒（非圧縮時） 8 Mバイト／秒（圧縮時）
バーストデータ転送速度（SCSI）	40 Mバイト／秒（最大）
ビットエラーレート	10^{-17} 以下

AIT-2モード

記憶容量	50 Gバイト（非圧縮、AIT-2テープ使用時） 100 Gバイト（2：1圧縮、AIT-2テープ使用時）
データ転送速度（TAPE）	6 Mバイト／秒（非圧縮時） 12 Mバイト／秒（圧縮時） 40 Mバイト／秒（最大）
ビットエラーレート	10^{-17} 以下

環境条件

使用時

温度：	5 ℃～40 ℃
湿度：	20 %～80 %（結露のないこと）（最大湿球温度：26℃）

非動作時

温度：	－40 ℃～70 ℃
湿度：	5 %～95 %

電源・その他

電源	5 V±5 % 1.5 A（通常動作時） 2.5 A（最大時） 12 V±10 % 0.4 A（通常動作時） 1.2 A（最大時）
消費電力	12 W
最大外形寸法	146.0 mm×41.2 mm×155.0 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）
質量	970 g
付属品	取扱説明書（1） クリーニングテープ（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

SDX-500Cで動作が確認されているアプリケーションは、本製品でも動作いたします。

お問い合わせ先

本機に対する修理依頼・お問い合わせは、お買上げの販売店にお願いします。

デバイスドライバー・接続情報について

最新のデバイスドライバー・接続情報については、ソニーのホームページでご案内しています。下記のURLを参照してください。
http://www.sony.co.jp/STORAGE/

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。